



# 南条つ子

南条小学校だより

南条つ子は 進んで学ぶ子

R2.8.25

No.29

思いやりのある子

かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



## ○ 保護者会の実施について

明後日、8月27日(木)に保護者会を行います。お忙しいところ申し訳ありませんが、ご出席よろしくお願ひします。

個人懇談では、担任からお子様について、頑張ったこと、できたこと(できるようになったこと)、もう少し頑張ると良いなということなど、具体的に話があるかと思ひます。どのお子様も「今よりも良くなりたひ・できるようになりたひ」という気持ちをもっていますし、家庭と学校が協力して、お子様を伸ばして行きたいと考えておりますので、**今後も頑張ろうと思えるような意欲を高める言葉かけ**をお願いします。

**【気を付けましよう！】** 子どもに(だれに対しても)絶対言っではいけない言葉3種類

「人格否定」の言葉    「能力否定」の言葉    「存在否定」の言葉

- ・新型コロナウイルス感染症対策により、特に「音楽」は授業内容に制限が出たり、授業時間も少なくなったりして、1学期の活動が十分できなかったことにより、1年生以外の学年で評定を出すことが困難になりました。そのため、通知表の1学期「音楽」の欄が空欄になっていますので、あらかじめご了承ください。(2学期には、評定を出します。)
- ・今回は、授業参観は中止とさせていただきます。下校バスは9:40発の予定です。
- ・当日は、職員駐車場をご利用ください。校舎南側(南校舎と校庭の間)、校舎東側(校舎と堤防の間)に50台以上駐車できます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用での来校および入校後の手指の消毒にご協力ください。個人面談の時には、担任と保護者の間に、アクリルボードを立てさせていただきます。
- ・当日は高温が予想されます。(個人面談時にはエアコンが作動しているので大丈夫かと思ひますが、)待ち時間での暑さ対策をご準備ください。
- ・スリッパをご持参ください。

## 【通知表について】

文部科学省によりますと、通知表は「各学校で子ども自身や保護者に学習状況を伝え、その後の学習を支援することに役立たせるために作成されているもの。扱い、記載内容や方法、様式などは各学校の判断で適宜工夫されている。」とし、内容はもちろん、発行するか、しないかも含め、「校長の裁量内」という位置づけになっています。

※県外の学校では、通知表がないところもあります。また、県外から転校してきた場合、通知表を保護者が学校に受け取りに行くということに驚かれる方もいらっしゃいます。

## ○ 『ごみ調査隊』発表リハーサル(4年生)



8月25日(火)、4年生が「ごみ」について調べ、まとめたことを発表するリハーサルを行いました。例年、校外学習に出かけて施設見学をしてくるのですが、今年新型コロナウイルス感染症のためにできませんでした。それでも、調べて分かったことをしっかりまとめることができました。明日、26日(水)が本番で、3年生の前で発表します。

## ○ 熱中症対策

今週は予想外の暑い日が続きます。そのため、教育委員会のご支援を得て、25日(火)、26日(水)、28日(金)の下校時に、1・2年生の徒歩通学生を送迎していただきます。また、「塩タブレットを家から持ってきてはダメですか?」という質問がありましたが、すでに学校から配布しています。

## 【校長のひとりごと】

去年から、子どもたちや教職員に、『「ありがとう」と言うように、言われるように』ということをよく話しています。普段、「普通のこと」と思っていることは、「あたり前のこと」ではなく、実はとてもありがたいこと、幸せなことなのです。

例えば、毎朝起きたら朝食ができています。このことは、「普通のこと」「あたり前のこと」ではありません。朝、早起きして作ってくれる人がいるからこそ、朝食が用意されているのです。朝食を作らなければ、もっとゆっくり眠っていられるのに、家族のために作ってくれている人がいるからです。そんな時、「ありがとう」「おいしかった」という言葉かけがあるのとは、作った人の気持ちもずいぶん違うのではないのでしょうか。

私自身、料理を作るのは好きなので、いろいろと作ることがあります。「ありがとう、おいしかった。また食べたい。」と言われた時には、「作って良かった。」という気持ちと、「今度は、もっとおいしく作って、もっと喜ばせよう。」という気持ちにもなります。

「ありがとう」と言える人は、人の優しさに気がつける人、人に支えてもらっていることを知っている人、周りの人を幸せにできる人です。また、周りの人から「ありがとう」とたくさん言われる人は、普段からとても良い行いをしている人ではないかと考えます。

「ありがとう」を言える人、言われる人になって、自分も周りの人も幸せになっていきましょう。また、「ありがとう」の言葉が、たくさん飛び交う学校や家庭にしていきたいと思います。

ところで、以前、県外のある学校長の言葉が、ネットに出ていました。それは、このような(コロナ禍で疲弊している)時期だからこそ、学校には、クレームよりエールをお願いしたいということでした。一人一人違った個性を持つ多くのお子様や感染症、異常気象等へ対応は、年々難しくなっていると感じています。そうした中で、本校の職員はコロナ禍で例年以上に神経をとがらせながらも、毎日一生懸命に勤務しております。できましたら温かい目で見てください、励ましと芳いの言葉をかけていただけますと幸いです。この困難な状況を、学校と家庭が協力することで、乗り越えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。